

2016年1月18日

現地参加も可能

## 「ミャンマー中小企業セミナー in Mandalay」のご案内

ミャンマーは、2013年3月の民主化移行以来、アジアにおける最後の残されたフロンティアとして、世界の注目を浴びています。日本からも、政府、民間から多くのミッションが派遣されており、ミャンマー進出企業は、この3年間、5倍と急増しております。

2015年11月のミャンマー総選挙では、アウンサン・スーチー氏が率いる国民民主連盟(NLD)が大勝し、新政権づくりが注目されております。今後、規制緩和が進み、外資のより積極的な誘致を図ることが期待されております。

ミャンマーの中小企業対策は、2013年1月、大統領を議長とする中小企業政策委員会がスタートし、総合的な対策の立案に取り組み始めた段階で、現在、中小企業振興法の作成が検討されています。

ミャンマー経済・投資センターは、ミャンマー側関係機関、日本側企業の協賛を得て2015年1月、ヤンゴンで中小企業セミナーとビジネスマッチングを開催しました。ミャンマー企業約90社がビジネスマッチングに参加し、その模様は、現地マスコミでも取り上げられました。

今回は、2016年3月、ミャンマー第2の都市、マンダレーにおいて開催いたします。マンダレーは、ミャンマー中部に位置し、農業、鉱業など各種の資源に恵まれ、また、交通のハブとしての役割も期待されています。また、中国国境が近く、中国市場との交流もひとつの注目点です。

去る9月30日、ミャンマー投資委員会(MIC)、マンダレー管区商工会議所(MRCCI)、および国際協力機構(JICA)の主催によりマンダレー投資フェアが開催されたところです。ミャンマー政府の力の入れようがうかがわれます。

また、ティラワ工業団地の視察、日本人駐在の方々との交流も企画しております。実施概要は以下の通りです。皆様のご参加をお待ちいたします。

ツアー名：「ミャンマー中小企業セミナー in Mandalay」

主催：＜日本側＞株式会社共同通信エンタープライズ ミャンマー経済・投資センター(JMEIC)

＜ミャンマー側＞工業省中小企業総局、マンダレー管区商工会議所(MRCCI)

協力(予定)：＜日本側＞中小企業基盤整備機構、日本貿易振興機構、国際協力機構、日刊工業新聞社、東芝国際交流財団、富士ゼロックス株式会社、商工中金、株式会社共同通信社、株式会社エヌ・エヌ・エー  
＜ミャンマー側＞国家経済計画開発省(DICA)

旅行日程：2016年3月23日(水)～3月27日(日)

中小企業セミナー日程：2016年3月24日(木)～3月25日(金)

開催場所：マンダレー管区商工会議所(MRCCI) 4階 ホール

**お申し込み締切日：2016年2月19日(金)まで**

添付の「ミャンマー中小企業セミナーin Mandalay 参加申込書」によりお申し込み下さい。  
※添付の申込書を提出後にキャンセルのお申し出をいただいてもキャンセル料は発生しません。

※成田からご出発の場合、旅行企画・実施会社(旅行会社)指定の書式により正式にお申し込みいただいた後のキャンセルには、所定のキャンセル料が発生する場合があります(キャンセル料に関する規定は旅行会社からのご案内に記載します)。

※現地参加の場合、申込締切日以降のキャンセルには、所定のキャンセル料が発生します。

主要プログラム：

1. 公開セミナー（3月25日、9：30～12：30）

- ・ミャンマーの中小企業政策の進展
- ・日本の経験：国際化時代の中小企業振興
- ・ミャンマー中小企業振興への日本の支援
- ・マンダレーの投資の魅力
- ・両国中小企業によるパネルディスカッション（ミャンマーにおけるビジネス成功の鍵）
- ・中小企業の振興とビジネス交流に向けての今後の協力

2. ビジネスマッチングセッション（3月25日、13：30～16：30）

- ・セミナー参加のミャンマー企業、日本から参加する中小企業の間で、ビジネスマッチングを行う。冒頭、代表数社が簡単なプレゼンを実施。

【マッチング優先業種】◎農業関係、食品加工◎医療機器、医薬品◎機械、部品◎IT 関係◎家具、雑貨◎繊維◎水処理、飲料水◎ローカルエネルギー；ソーラー、風力など◎そのほかインフラ関連  
※このほか、ご希望の業種についても対応します。

3. マンダレー商工会議所訪問およびミヨタウ工業団地視察（3月24日）

4. マンダレー商工会議所幹部との交流会（3月25日）

5. 駐在日本人ビジネスマンの方々との夕食、ティラワ工業団地見学など

募 集 人 数：20名； 最少催行人数 10名  
添乗員は同行しません。現地係員が対応します。

参 加 費 用：約29万5千円（成田空港発着の参加者が10人を超える場合） 3泊5日  
約19万円（現地参加の場合） 3泊4日  
※セミナー・交流会参加費、ビジネスマッチング費を含みます。  
※ホテルの部屋はシングルルームです（3泊）。

<上記金額に含まれないもの>

日程以外に行動される場合の交通費・宿泊費、各食事における飲料代、個人的性格の諸費用（電話代、追加飲食代等）、超過手荷物料金、旅行傷害保険料、ビザ代等

お申し込み方法：「ミャンマー中小企業セミナーin Mandalay 参加申込書」に必要事項をご記入の上、FAXもしくはE-mailにてお申込みください。

旅行企画・実施：双日ツーリスト株式会社

お問い合わせ先：ミャンマー経済・投資センター（㈱共同通信エンタープライズ内）  
事務局：米村、古川  
〒105-7208 東京都港区東新橋1-7-1 汐留メディアタワー  
TEL：03-6252-6091 FAX：03-6252-6092

## ミャンマー中小企業セミナー in Mandalay 日程案

日次	日付	都市名	交通機関	時刻	行 程	食事
1	3月23日 (水)	東京 (成田) ヤンゴン	NH913  専用車	11:45 17:15  夕刻	成田→ヤンゴン ヤンゴン到着 専用車にてホテルへ ホテルチェックイン ホテルにて日本人駐在員との会食  ヤンゴン泊	朝-X 昼-機内 夕-O
2	3月24日 (木)	ヤンゴン マンダレー	専用車  K7244	6:15  8:15 10:00 午前 午後  夕刻	ホテルから空港へ 早朝のため朝食がBOXの場合があります。 ヤンゴン→マンダレー マンダレー到着 ミヨター工業団地視察 ミャンマー商工会議所 (MRCCI)訪問 マンダレー視察 ホテルチェックイン 市内レストランにて夕食  マンダレー泊	朝-BOX 昼-O 夕-O
3	3月25日 (金)	マンダレー	専用車	9:30  13:30 17:00 18:30 20:30	中小企業セミナー (ミャンマー商工会議所) ピュフェ形式の昼食 ビジネスマッチング (ミャンマー商工会議所) ホテルへ マンダレーセドナホテルにて夕食懇親会 (ミャンマー商工会議所・現地・日系企業等) 夕食後ホテルへ  マンダレー泊	朝-O 昼-O  夕-O
4	3月26日 (土)	マンダレー ヤンゴン	専用車  Y5812  NH914	6:50  8:50 10:00 午前 午後  18:00 19:00 22:10	ホテルから空港へ 早朝のため朝食がBOXの場合があります。 マンダレー→ヤンゴン ヤンゴン到着 ティラワ工業団地視察 ヤンゴン市内観光 (シュエダゴンパゴダ・スーレパゴダ等) 市内レストランにて夕食 夕食後空港へ移動 ヤンゴン→成田  機内泊	朝-BOX 昼-O 夕-O
5	3月27日 (日)	東京 (成田)		6:45	成田到着	朝-機内

利用航空会社： 全日空 ゴールデンミャンマー航空・エアカンボース

利用予定ホテル： (ヤンゴン) トウィンガーデンホテル (マンダレー) シュエピターホテル

## ミャンマー中小企業セミナー in Mandalay 参加申込書

ミャンマー経済・投資センター 事務局：米村、古川宛

FAX：03-6252-6092 E-mail：info@jmeic.org

ミャンマー経済・投資センター主催の「ミャンマー中小企業セミナー in Mandalay」に参加します。

ご氏名	(英語： )
ご所属	会社・団体名： (英語： )
	部署名： (英語： )
	役職名： (英語： )
	住所： 〒
	TEL：
	FAX：
	URL：
	E-mail：
	事業内容： (英語： )
	その他、セミナーに対するご希望等があれば、具体的にご記入ください。
ビザ取得について (○をおつけください)	自分で手配する ・ 旅行会社に依頼する

# 第1回 ミャンマー中小企業セミナー in Yangon (2015年1月)の様子

## JMEIC/SMEDD 共催ビジネス・マッチング

2015年1月29日:工業省中小企業局



工業省の会場



米村理事長の開会挨拶



Aye Aye Win 次長の挨拶



商談中の参加者



商談中の参加者



商談会の会場

## 中小企業セミナー

2015年1月30日:ミャンマー商工会議所連合会(UMFCCI)大ホール



中小企業セミナー会場の垂れ幕



挨拶する U Zaw Min Win 副会頭



開会挨拶する米村理事



パネルディスカッション参加者



セミナー会場風景



UMFCCI より米村理事長に感謝状贈呈